

分野：⑧3R ⑫消費生活・衣食住

## 「私たちのまちをごみから守ろう」

環境アドバイザー

牧野 真知子 神山 裕則

対象 川口市立戸塚南小学校 4年（181人）

所要時間



90分

場所 4年1組教室

実施時期

令和2年11月30日  
12月8日

## 概要

川口市内のごみ事情を話し、3Rに繋げて海外の事情と比較させる。家庭から出る資源ごみを持ち寄り、川口方式で11分別の仕分け袋に各自が持ち寄ったものを実際に分別する。分別した事で分かったことなどを共有し買い物からごみが減らせることに気付いてもらう。

プログラムの  
ねらい

川口方式でごみを分別する事でリサイクルの仕組みを知り、資源が守れることに気がつく。家庭から出るごみで、何が多く出されているかに気付き、燃やされるごみに含まれながら、まだリサイクルできる、紙の事情を知る。買い物からごみを減らし賢い消費者を目指す。

## プログラムの内容

今回は新型コロナの影響で、市内では初めての授業となる。5クラス合同授業が出来ない為、1クラスのみで授業を行いビデオに録り、他のクラスは後日ビデオ視聴による学習となるクラスによる反応などを見る事はできませんでしたが、十分にビデオと打ち合わせが生かされたと思う。

ごみの授業のはじめの20分間は市内のごみ事情についての話、持ち寄った資源ごみの川口方式の分別の実践11分別の後で正しい分別の仕方を答え合わせする。3Rの話とリサイクルで出来ている物の実物を触って経験する。リサイクルすることの大切さを話す。牛乳パック・古紙回収のリサイクルの仕組みがこの学校から始まった話、行動を起こすきっかけなどを話す。

グリーンコンシューマーの時間は、買い物からごみを減らす実践例をビデオで学び、スウェーデン人のペオエクベリさんの生活から、自分たちもエコな買い物ができるかを、実物のエコな商品と、環境に適さない商品を比較しながら20品目を手持ちのシートに選んで書き込み、最後に答え合わせする。

ビデオ及び参考教材は、各クラス循環で実践に使えるように後で回収しました。

今回の初めての経験は、これからの授業形式に採用されたらありがたいと提案しました。

## 受講者の反応

## ＜先生方より＞

手順が良かったので、説明が良く分かった。リモートだったため、4クラスは後日ビデオを見ての授業だったが、同時配信の授業だとより良かったと思う。

## ＜生徒の様子＞

楽しそうだった。子ども達はゴミを間違いなく分別し、きちんと捨てられた。買い物ゲームの際は、ビデオを見た後にしたので、環境に優しい買い物をする事ができた。

# 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

